

害虫駆除業務仕様書（八幡図書館）

1 業務の目的

建築物等において、ねずみ・昆虫等、人の健康を損なう事態を生じさせる恐れのある動物に対する防除を行うことにより、衛生的環境の確保を図り、公衆衛生の向上及び増進に資することを目的とする。

なお、建築物における衛生的環境の確保に関する法律等関係法令を遵守し、業務を実施すること。

2 事前通知

- (1) 薬剤を使用する場合は、少なくとも 3 日前までに使用薬剤名、実施場所、においの程度、化学物質などに対する過敏者への注意などを記載した事前通知を作成し、実施 3 日後まで当該場所入口に掲示する。
- (2) トラップ等を使用する場合は、トラップの種類、設置場所、数等を記載する。

3 防除作業

殺鼠剤又は殺虫剤を使用する場合は、薬事法（昭和 35 年法律第 145 号）第 14 条又は第 19 条の 2 の規定による承認を受けた医薬品又は医薬部外品を用いて、用法、用量、使用上の注意を守って使用する。

(1) ねずみ

作業項目	作業内容
1 毒餌処理	<p>次の方法等により、適切な防除作業を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① ねずみの生息場所、通路、餌場、休息場所等に、毒餌皿に入れて配置する。 ② 食料品に混入する恐れのある箇所、子どもやペットがいる場所では、毒餌皿をさらに毒餌箱に入れて配置する。 ③ 喫食が見られる間は、原則として週 1 回点検する。
2 粘着トラップによる防除	<ol style="list-style-type: none"> ① ねずみが出没する箇所に夜間配置し、始業前に回収する。 なお、生息数の多い場所では 1 枚／㎡以上配置する。 ② 天井裏等、侵入の恐れのある箇所に配置する。
3 捕鼠器による防除	<ol style="list-style-type: none"> ① 圧殺式トラップ（パチンコ）又は生け捕り式トラップを配置する。人が出入する箇所では、夜間配置し、始業前に回収する。 ② 天井裏等、侵入の恐れのある箇所に配置する。

(2) ゴキブリ

作業項目	作業内容
1 毒餌処理	次の方法等により、適切な防除作業を行う。
2 殺虫剤による処理	ゴキブリ用ベイト剤又は容器入りのものを配置する。
3 ULV 処理	ゴキブリの生息場所となる隙間や割れ目、徘徊場所に重点処理する。
4 蒸散剤による処理	ピレスロイド系の水性乳剤を用法、用量に基づいて、電動式 ULV 機、ノズル式 ULV 機、炭酸ガス製剤噴出機等により処理する。
4 蒸散剤による処理	ジクロロボス樹脂蒸散剤をセットした蒸散剤殺虫機により、室内に薬剤を充満させる。

(3) 蚊

作業項目	作業内容
1 殺虫剤による処理	発生場所、生息場所及び侵入経路並びに被害の状況等から、下記に示す方法その他有効な方法を組み合わせて防除作業を実施する。
2 ULV 処理	幼虫が発生する水域に、薬剤を用法、用量に基づいて散布する。
3 蒸散剤による処理	蚊が発生しているマンホール内部及び飛翔区域に、ピレスロイド系の水性乳剤を ULV 機、ノズル式 ULV 機、炭酸ガス製剤噴出機等により処理する。
4 ライトトラップによる防除	ジクロロボス又はピレスロイド系の樹脂蒸散剤を、用法、用量に基づいて、マンホール内部に吊るす。
4 ライトトラップによる防除	発生のおそれのある区域には、粘着シート式ライトトラップを設置する。

(4) ハエ・コバエ類

作業項目	作業内容
1 殺虫剤による処理	幼虫の発生源に、薬剤を用法、用量に基づいて散布する。
2 ULV 処理	コバエ類が発生しているマンホール内部及び飛翔区域に、ピレスロイド系の水性乳剤を電動式 ULV 機、ノズル式 ULV 機、炭酸ガス製剤噴出機等により処理する。食料を扱う区域では、ビニールシート等で養生する。
3 蒸散剤による処理	ジクロロボス又はピレスロイド系の樹脂蒸散剤を、用法、用量に基づいて、マンホール内部に吊るす。
4 ライトトラップによる防除	発生のおそれのある区域には、粘着シート式ライトトラップを設置する。

(5) ダニ

作業項目	作業内容
1 殺虫剤による処理	次の方法等により、適切な防除作業を行う。
2 ULV 処理	被害の訴えのある箇所に、全自動噴霧機により重点処理する。 ピレスロイド系の水性乳剤を、用法、用量に基づいて、電動式 ULV 機、ノズル式 ULV 機、炭酸ガス製剤噴出機等により噴霧する。
3 加熱処理	布団、畳は、布団乾燥車等により、内部温度 60℃で 2 時間以上、加熱乾燥させる。

4 防除周期

年 2 回の防除作業を行うこととする。

5 報告書

業務終了後、報告書を作成すること。